

様式第2（第7条関係）

実施計画書

1 申請団体の概要

団 体 名	〇〇〇の会		
代 表 者 氏 名	安城 太郎		
団 体 連 絡 先 (申請担当者)	氏 名	安城 花子	
	住 所	〒446-8501 安城市桜町18番23号	
	連絡先	Tel : 0566-71-2218	
		Fax : 0566-72-3741	
	e-mail : kyodo@city.anjo.lg.jp		
設 立 年 月 日	平成〇年 〇月〇〇日	構成員数	15人
団 体 の 活動の目的・目標	本会は男女共同参画を推進するために設立された。 広く男女共同参画を啓発し、誰もが自立した人間として、その人権を尊重し、共に責任を分かち合い、豊かな生き方ができる社会の実現を目指す。		
「団体として」の 目的・活動を記載	男女共同参画を広く知ってもらうために、啓発活動を行う。 ・イベント開催(年1回) ・セミナー(年2回)		
団 体 の 活 動 の 内 容 ・ 活 動 実 績	直近の実績 ・〇〇イベント R7.4.〇 参加人数 62 名 ・〇〇オンラインセミナー R7.6.〇 参加人数 78 名 ・〇〇オンラインセミナー R8.1.〇 参加人数 75 名		

2 申請事業概要

事 業 名	〇〇〇〇〇	
協働する団体 ※行政協働型事業・ 協働提案型事業の 場合に記入	団体名・代表者名	役 割 分 担

※行政協働型事業の場合は、団体名・代表者名の欄に協働する部署（課）名を記入してください。

申請事業の目的	<事業対象者> 老若男女問わず、主に安城市民を対象とする。 <解決したい地域課題> 性別による差別や無意識の思い込み(アンコンシャスバイアス)があること。LGBTなどの性的少数者の方への理解が十分でないこと。 <課題の解決策> 性別による差別やアンコンシャスバイアスの認知を広めること、性的少数者の方に対する理解を深めることを目的としたイベントの開催、啓発誌の作成・配布。			
申請事業の内容・特徴	<イベント等の開催の場合> 【日時】R9.11.〇(土)13時～16時 【場所】アンフォーレ 【内容】LGBT当事者や大学教授など複数の講師を招き、パネルディスカッションや質疑応答の時間を設け、参加者の理解をより深めてもらう。 【参加費】<u>有料</u>・無料 その理由：講師謝礼等の開催経費の一部に充てるため。 【参加者数】100名 【啓発チラシ】<u>有</u>(350部)・無 【その他の特徴等】アンフォーレの〇〇イベント期間に合わせて実施することで、より多くの参加者を見込める。 <啓発誌等の発行の場合> 【内容】LGBTの説明やどのような差別があるか具体的な事例などを載せ、小学生でも分かる内容のものにする。 【配布部数】1,000部 【配布先】イベント参加者(200部)、町内会・公民館(800部) 【配布方法】<u>持込</u>・<u>郵送</u>・その他() 【その他の特徴等】LGBT当事者によりより具体的な事例を紹介できるという点が、市発行の啓発誌との違いであると考える。			
事業計画	時期	内 容	場 所	
実績報告書作成 まで計画に記載	～8月	イベント 内容検討・講師依頼		
		啓発誌 掲載内容検討		
	8～9月	イベント 内容決定・チラシ作成		
		啓発誌 内容決定・情報収集等		
	10月	イベント チラシ配布・参加者募集	アンフォーレ・交流センター・町内会等	
		啓発誌 原稿作成・印刷発注		
11月	イベント 開催	アンフォーレ		
	啓発誌 配布			
12月	実績報告書 作成			
事業の実施により期待される効果	複数の講師を招きいろいろな立場からの話を聞くこと、また、チラシや啓発誌を多くの人に配布することで、多くの方に、性別による差別や無意識の思い込みがあることの認知を広めることができ、また、LGBTなどの性的少数者の方への理解を深めることができる。 それにより、人権を尊重し、多様性を認め合え、誰でも豊かな生活が送れる男女共同参画社会の実現に近づけられる。			